

研究タイトル	植物由来の紫外線吸収剤を用いた日焼け止めの作成 タマネギ外皮とカリンの紫外線吸収効果の可能性を探る
要旨	<p>従来の日焼け止めに用いられる紫外線吸収剤は、人体や環境への影響が懸念されている。そこで本研究では、植物由来成分を用いた紫外線吸収剤の開発を目的とした。廃棄されがちなタマネギ外皮に含まれるケルセチンに着目し、昨年度の研究で UVA 領域における高い紫外線吸収効果を確認したが、UVB 領域での吸収不足と紫外線照射による構造変化が課題となった。本年度はこれらの課題を踏まえ、ケルセチンの構造変化の解析に加え、カリンの紫外線吸収効果を検討した。その結果、カリンのエタノール抽出液は UVB 領域に安定した吸収帯を示し、さらにケルセチンとの混合においても吸収特性が維持されることが確認された。以上より、ケルセチンとカリンを組み合わせることで、UVA・UVB の両領域に対応可能な植物由来紫外線吸収剤の開発が期待される。</p>